

定期テストでは、英語、数学、理科、社会、国語だけでなく、
音楽、技術・家庭、美術、保健・体育でも百点満点を取ってしまう
—実技4科目でも百点満点を取るには—

開倫塾
塾長 林明夫

Q：なぜ音楽や技術・家庭、美術、保健・体育の定期テストでも百点満点を取ったほうがよいのですか。

A：（林明夫。以下省略）それらの科目は、皆さんが学校を卒業して社会に出てからも、死ぬまで毎日役に立つ科目だからです。

せっかく学校でそれらの科目を習っているのなら、授業をよく聴き、教科書や資料集をよく勉強して科目の内容をよく「理解」し、その上で、定期テストの勉強を活用して、習ったことをすべて完全に身に付けてもらいたいと私は希望します。

Q：ええ、音楽や技術・家庭、美術、保健・体育は世の中に出て役に立つのですか。それも死ぬまで役に立つのですか。信じられません。

A：学校で今習っていることは、世の中に出てすべて役に立ちます。教科として習っていることはすべて世の中で役に立ちますし、教科以外の様々な活動、例えば、始業式や終業式、卒業式、修学旅行や遠足、運動会や体育祭、文化祭、部活動や生徒会活動、学級会やいろいろな当番制度などはすべて社会に出て役に立ちます。トイレ掃除などは本当に役に立ちます。

少しずつ考えてみましょうね。例えば、音楽は毎日の生活を豊かに過ごすのに欠くことができません。音楽のない生活は考えられませんね。音楽にはどのような歴史があり、どのような種類のものがあり、その代表的な作品はどのようなものなのかを知ることは、音楽の理解に欠かせません。また、人類や各民族の文化とも言える音楽の代表的な作品を、たとえ少しでも自分の手で演奏できたり、自ら歌うことができたなら、人生の喜びとなります。音楽は人生を深め、人生を豊かにします。その音楽を正式に習えるのが、学校の音楽の時間なのです。

音楽の時間に先生から音楽とは何かや、その学年で習うべき内容の指導を十分にいただき、先生から教えていただいたことをよく思い出しながら、教科書や資料集、授業中のノートをよく復習します。そして、定期テストの範囲をスミからスミまで一つ残らず完全に覚え、身に付けてからテストに臨みましょう。

自分で演奏できる楽器のある人は、テスト範囲にあるすべての曲目を自由自在に演奏できるまで練習を繰り返しましょう。また、学校で習った曲はすべて歌詞の内容をよく「理解」した上で、大きな声で歌う練習をしましょう。そして、何も見ずに演奏したり歌えたりできるまでにして、定期テストに臨みましょう。

そうすれば、誰でも定期テストで百点満点が取れます。学校の音楽の成績もよくなります。

Q：音楽で百点満点を取ると、何かよいことがありますか。

A：音楽が今まで以上に好きになります。学校で先生から習った内容や教科書に書いてある内容が正確に身に付いていますから、時々学校の教科書を取り出して読み直しさえすれば、一生忘れることがありません。人生が豊かになりますよ。

Q：ええ、学校を卒業してからも音楽の教科書を勉強するのですか。

A：当然です。音楽に限らず、学校の勉強は社会での勉強の準備に過ぎません。本当の勉強は社会に出てからです。学校で先生から習った勉強の上に自分の力で積み重ねるのが、社会に出てからの勉強です。

ですから、学校の教科書は卒業した後も絶対に処分しないことです。一生の宝物として家のどこかに保存し、いつでも取り出して勉強できるようにしておくことです。

クラシックや現代音楽、民族音楽などの演奏会や音楽会に行くときには、必ず事前に教科書を取り出し勉強してから行くと「理解」がぐーんと深まります。音楽がますます好きになり、人生の喜びが増します。特に、くじけそうになったときに、音楽は大きな力を与えてくれますよ。

自分で歌うことができたり、演奏することができる人は幸せです。学校で習った音楽の基礎を大切にして、一生涯死ぬ日まで歌うこと、演奏することを心掛けて下さい。素晴らしい人生となります。

Q：最後に一言どうぞ。

A：技術・家庭、美術、保健・体育にもそれぞれ皆さんが社会に出てから役に立つ大切な意味があるので、学校で学ぶ教科となっています。

日本はものづくりの国です。ものづくりの基本中の基本を学べるのが技術です。これは、毎日の生活にも役に立ちます。家庭科は、英語でホーム・メイキング(Home Making)と言います。自分や生活を共にする人が力を合わせて作り上げるのが家庭です。その基本を習うのが家庭科で、毎日の生活にすぐ役に立ちます。

美術も、音楽と同様、これなしでは生活できないほど我々の生活に入り込んでいます。様々な色彩・デザイン・造形・絵画はすべて、文化的な背景を持つ時代の産物と言えます。アニメも美術であり、携帯も工業デザインの極致と言えます。

保健・体育ほど大切な科目はありません。身体的にも、精神的にも、社会的にも健康であって初めて、人間として健全に生きられます。そのすべてを教えてくれるのが保健・体育です。日本は、学校で習う保健・体育をよく「理解」して身に付ければ、誰でも百歳過ぎまで元気に若々しく生きられる国となりました。誰でも百歳過ぎまで元気に若々しく生きられる国、こんな素晴らしい国はありません。そうなるか否かは、学校時代に保健・体育をよく学び、社会に出てからも学び続けるかどうかにかかっています。

このような考えを持って、実技4科目もしっかり勉強し、定期テストで百点満点を取って下さい。ただし、準備は一日も早いほうがよいことは、英数理社国と変わりません。念のために、一言付け加えさせていただきます。